

田原市国土強靱化地域計画（案）パブリックコメント

提出された意見と市の考え方

No.	提出された意見	市の考え方
1	津波浸水により西堀切から豊橋渥美線の利用が出来なくなる恐れがあるため、未整備区間のある堀切中山線を整備してください。また常光寺北東角の段差を解消してください。	計画は原案のとおりとします。 (補足) ・県道堀切中山線は、国道259号の南側700mが未整備のままになっています。地域と相談の上、整備可能であれば、県に対し事業の再開を要望します。 ・「常光寺北東角の段差」については、県道起点の堀切町から常光寺東角までは建物も多く、また常光寺東角から国道259号までの間も用地取得に難航した経緯もあり、現在のところ拡幅整備は難しい状況です。
2	ラウンドアバウト（信号機の無い環状交差点）の導入を進めてください。	計画は原案のとおりとします。 (補足) 現在、整備予定箇所はありません。市全体の道路計画において、交通量、幾何構造、交差点の安全性、経済性等を確認した上で、必要があれば研究してまいります。
3	国道259号線の南栄町周辺と大崎インター西交差点と天津南交差点で常時渋滞しているの、田原市外ですが、県に改善を図るように要望してください。	計画は原案のとおりとします。 (補足) 道路の渋滞緩和には、接続する市道や、臨海部からの流入、臨海部への流出の交通量や、通過車両の種類等、渋滞原因を調査して、有効な改善方法を検討する必要があります。国道259号の豊橋市内の渋滞箇所については、豊橋市と田原市は道路管理者である県に渋滞解消を要望しています。
4	個人に委ねている狭あい道路解消事業を、本当に必要なところ（集落内・避難路等）は、市・地域が主体となって、進めてください。また、補助事業の制度の使い勝手が悪くなっている。	計画は原案のとおりとします。 (補足) ・避難路の確保、改善については、地域と市の関係部署が調整しながら推進しています。 ・狭あい道路解消の補助制度も防災上有効な手段であるため、活用しやすい制度となるよう研究してまいります。
5	災害が発生する前に仮設住宅用地の選定・仮設住宅の配置計画をしてください。例えば公共用地内で、小学校に何戸、運動公園に何戸設置可能かと。	計画は原案のとおりとします。 (補足) 防災活動拠点の選定や仮設住宅の配置計画は、地域防災計画等で検討を行っています。
6	内閣府が発表している南海トラフ地震の被害想定では、深夜に津波が襲来した場合、昼間の3倍以上の被害が出ると予測している。特に表浜は、地震発生から10分程度の間に、行政や他者に頼ることなく、各個人が自主的に即座に避難できるようにしなければならない。そのためには、停電となった暗闇の中で、高台などの安全な避難先へと誘導する照明が必要です。短期間で低コストで実施できる高台避難誘導照明の導入をお願いします。	ご意見については、具体的な事業を検討する上で参考とさせていただきます、計画は原案のとおりとします。